



国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功
副会長 高杉 治興
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

＜今月の聖句＞

古田 和彦

実に、キリストはわたしたちの平和であります。
二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意と
いう隔ての壁を取り壊し、規則と戒律づくめの律法
を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御
自分において一人の新しい人に造り上げて平和を
実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神
と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。
エフェソの信徒への手紙 2 : 14-16

司会で始まる。1部は神奈川を中心に活躍する7つのフラチ
ームによる華麗な舞い。2部は日本を代表するクラリネット
奏者花岡詠二・ヴォーカルヘンリー矢板によるカントリウエ
スタンに会場は酔いしれる。3部は我がレイキングスの質の
高い正統派ハワイアンとあつという間の3時間の充実したパ
フォーマンスであった。

中でも今や名物のコロへ今村のジルバである。1930年
生まれのコロへの軽快なステップは多くの高齢者に元気とパ
ワーを与えている。バンド結成23年となるが体力・気力が
続く限り続けて行くつもりである。

＜2016年1月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F
20名	メン 14名	74 %	今月分
(功勞	メネット 3名	(メーキャップ	切手 0g
会員 1	コメント 0名	名を含む)	現金 0円
名を含	ビジター 0名		年度累計
む)	ゲスト 0名	前月修正出席	切手 3,493g
	合計 17名	率	現金 0円

＜2月の行事予定＞

TOF

日	曜	時間	行事内容	場所
11	木	10:00 16:00	横浜YMCA会員大会	とつかY
11	木	12:00	横浜クラブ第一例会	とつかY
24	水	13:30	第3回日本語スピーチ コンテスト	中央Y
25	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

今月のひとこと

「ジルバ」

今村 讀



ジルバを踊る今村ワイズ

我が「コロへ今村&レイキン
グス」恒例の関内ホールでのコ
ンサート2015は去る11月
22日に開催した。毎年大盛況
で14時開場に12時頃から長
蛇の列が出来その整理が大変で
あるが、これもうれしい悲鳴だ。

普通この手のコンサートはハワイアンとフラであるが、
我々はそれに+ジャンルの違うジャズ・ラテン・カントリー・
スイスヨーデル等一流バンドをゲストとしているのがこれが高
い評価を得ている。

ホノルルに住んで10年になる親友山崎節夫氏の格調高い

「Y-Y 's 合同新年会」

金子 功

1月17日(土)午後6:30より恒例となった横浜YMCA・Y's湘南・沖縄部合同の新年会が横浜駅西口から徒歩10分に位置するホテル・プラムで開催された。出席者は総勢66名。来賓として横浜YMCA理事の茂木雄氏、東日本区理事渡辺隆氏ほか在京より3名が参加した。沖縄の2クラブからの出席者がいなかったのは残念であった。

プログラムは3部構成。第1部の開会礼拝の司会は湘南・沖縄部担当主事の井上孝一スタッフ。今城宏子さん(つづきクラブ)の奏楽に始まって、聖書朗読(マタイによる福音書7章7~8, 12節)は司会者。予定されていた相賀昇牧師(つづきクラブ)の奨励は健康上の理由で欠席のため鈴木茂ワイズ(つづきクラブ)がメッセージを代読した。献金は横浜YMCAのBAPY基金のためのもので感謝の祈禱は林理子さん(つづきクラブ)が捧げた。

第2部の司会は林茂博ワイズ(部書記)、今城高之湘南・沖縄部部長の開会点鐘に引き続きワイズソング、ワイズの信条が唱和された。



年頭の挨拶は渡辺理事、田口総主事、今城部長の3人。渡辺理事は、モットーである原点に立つことを年初に当たり強

調、ワイズにとっては、家の家訓或いは、会社の社是に相当するワイズの信条を再度心に刻んでワイズの活動に励もうとのメッセージを、田口総主事は、現在NHKの朝ドラで放映中の「あさが来た」のヒロイン広岡浅子と東山荘との関係や、「ぐりとぐら」の作家中川李枝子さんとの新春特別対談を通して確認した人と人とのつながりの大切さを、そして、今城部長は、無事に半年が終えたことを喜び、残る期間を更に頑張りたいとのべた。

第3部は、辻剛ワイズ(つづきクラブ)の総合司会による食事と懇親のひとときで、茂木雄氏の乾杯の音頭により始まった。食事はビュッフェスタイルで、飲み物もビール、ワイン、日本酒等が好みに応じて振る舞われ、お互いに新年の挨拶を交わしながら友好を深めるひと時をもった。アトラクシ



ョンは、今城宏子ワイズ(キーボード)、久保勝昭ワイズ(ギター)の伴奏で、全員で合唱したり、TKB(Tsuzuki Kawaii Baachans)の出

演により大いに盛りあがった。その間、生井知三担当主事の司会でアピール・タイムがあり、横浜クラブは2月24日に開催予定の外国人留学生による日本語スピーチ・コンテストを案内した。

若木ワイズ(次期部長・とつかクラブ)の閉会の言葉で午後8:30に終了した。

横浜クラブからの出席者は:青木、伊藤、今村、遠藤、大高、押川、金子、神村、古賀、齋藤、高田、田口、古田、松島の17名

「部長沖縄公式訪問報告」

金子 功

1月30日(土)~31日(日)の2日間にわたり部長沖縄公式訪問が実施された。この機会に第2回部評議会を開催する予定であったが、出席者が定足数に届かず、第2回評議会は急遽第3回役員会に変更された。役員会は、1月30日、15:00~17:00に、沖縄那覇クラブと沖縄クラブの合同例会は17:30~21:00に、いずれも沖縄YMCA会館で行われた。出席役員は13名。湘南地区からの部長同行者数は合計15名であった。

第3回役員会及び次年度次期部長選考委員会

今城部長の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条唱和に引き続き、林茂博部書記から評議会を役員会に変更した理由説明があり役員会が開始された。役員会に先立ち、「次年度次期部長選考委員会」が開かれたが唯一の協議事項は「次年度次期部長推薦」の件で、今城部長より、金子功ワイズ(横浜クラブ)を推薦し、次回の評議会で承認をおおぐ手はずが整ったとの報告がなされた。(本件については、1月28日の横浜クラブ第2例会にて合意済み。)

役員会の主な協議事項は以下の通り:

- 1) 部研修会見送りの件;次回評議会で承認を求める。
- 2) 次年度部会:10月1日(土)~2日(日)、三浦ふれあいの村の提案。
- 3) 次年度部事業主査選出クラブの提案:
地域奉仕(横浜)、会員増強(八景)、
国際交流(鎌倉)、ユース(厚木)
- 4) 2回目の部長公式訪問:クラブ役員会訪問を希望
尚、この席上で第2回評議会を3月1日(火)Y-Y's協議会の前に行うことを決定した。
最後に各クラブの下半期行事予定等を報告し役員会は終了した。

沖縄那覇クラブ・沖縄クラブ合同例会及び懇親会

沖縄那覇クラブと沖縄クラブの合同例会は比嘉善彦ワイズ(沖縄那覇)の司会で17:30に開始。奨励に招かれた知念一郎沖縄YMCA理事長はYMCAのシンボルマークと聖句(ヨハネによる福音書17章21節)の意味を熱く語り、ワイズメンズクラブの沖縄YMCAに対する支援に感謝の意を述べた。沖縄那覇及び沖縄両クラブの会長挨拶、今城部長の挨拶に続き、今回東日本区から特別に参加したユース事業主任浅羽俊一郎ワイズ(東京山手クラブ)は、ユースをもっと取り込むためには「こちらからユースに近寄ろう」と強く呼びかけた。

例会後は同じ場所を会食・懇談の場所にしつらえ地元の食



部長沖縄公式訪問参加者

材、手作りの美味を味わいながら、カラオケも含め時の経つのも忘れて交流を楽しんだ。

二日目は「特別エクスカージョン」と称する、社会勉強を含めた手づくりの観光を昨年購入したトヨタ・ハイエース(湘南・沖縄部も一部支援)で楽しんだ。午前8:30に参加者の多くが宿泊したホテルルートイン那覇泊港を出発、世界遺産の「今帰仁城址」で緋寒桜祭りの見学を皮切りに、はるかカヌチャリゾートから辺野古基地の建設現場を遠望したり、嘉数高台公園から「米軍普天間基地=オスプレイ常駐基地」を展望した。途中「さとうきび畑」の歌碑や「チビチリガマ」の見学で戦争の悲劇も思い起こす場面もあり、沖縄が抱える問題の奥の深さを改めて知る見学会であった。

特別エクスカージョンを中心になって準備された屋良政旦会長他、一日中案内をして下さった大森さん、比嘉さん、そして安全運転で案内してくれた久場景太さん(沖縄YMCAの職員)他沖縄那覇クラブの皆さまに心から感謝を致します。

「小さい子どもが平和を導く」

押川幸男



今年の初め、私が興味を持った記事は、イギリスのジョージ王子のことです。水色のリュックを背負った写真と共に2016年1月6日からノーフォーク州のウエストエーカーモンテッソーリ保育園に通園し始めたことが報告されていました。

祖母の故ダイアナ妃やウィリアム王子もモンテッソーリ教育に関わったこともあって、両親が選んだそうです。ヨーロッパやアメリカにおいては、モンテッソーリ教育は広く普及していますが、なぜか日本ではあまり多くありません。私事ですが、昨年4月からモンテッソーリ教師(ディプロマ)取得のため、文京区の東京コースを受講しています。20年程教会付属幼稚園の園長を経験する中で、「キリスト教保育とは何なのか」と問い続けていました。まだ答えは与えられていませんが、今改めて、幼児教育の大切さや深さを実感しています。マリア・モンテッソーリは、敬けんなキリスト者でした。それだからこそ、宗教的な要素も十分に取り入れています。イタリアのサンロレンツォ地区の「子どもの家」が始まったのは、偶然にも1907年1月6日の光現日(栄光祭)でした。聖書箇所は、クリスマスページェントで有名な3人の博士が平和の君である幼子イエスを訪ねる場面です。モンテッソーリは、「子どもの家」の開設がこの日であったことを、挨拶の中で、とても喜んでいました。モンテッソーリ教育は、障害児教育から出発し、平和教育も大きな柱です。彼女自身、「すべてをなすことのでキス悪オスエゾよ、たれト

★ 強い義務感をもとう

私と共に人類の平和を築くお手伝いをしてくれるよう祈っています」と語っています。

一昨年訪問したアメリカの教会では、モンテッソーリ教育を基本にして、聖書の物語を子どもたちにダイナミックに伝えていました。日本においても、教会や幼児教育の場で、平和教育であるモンテッソーリ教育の豊かさが理解されるよう、私もそのための小さき器として、神さまに用いられますよう祈りつつ、この一年歩んでいきたいと願っています。

「OLD'S BE INTERN」

藤澤 智晴



映画を見ました。70歳になる男が新たな職につき活躍する物語です。目指すは、今、最もトレンドなネットショッピングを展開する、女性経営者率いる会社。その会社は嘗て、彼が40年間働いていた社屋にある。就職面接にこぎつ

けるためには、まず、自己アピール。履歴書はもうすでに過去のもので。ビデオカメラを設置し、自らの経歴、経験、希望、等々、精一杯表現する。やがて、面接通知を得てめでたく就職することになる。意気込んで入社するも仕事は無く、雇用先の意図は高齢者を雇っているという実績作りと知らされる。けれども建物内を知り尽くした彼は新しい可能性に挑戦していく。さまざま展開する事件?ロマンスに絡みながら、その都度の的確な彼の助言が会社と経営者のプライベートの窮地をも救い、やがて、存在感を発揮し社内の信望を得ていく。



“My Intern”は“自分の中に居る新人”に向き合う物語でした。人生100年の時代、新人として身を置く場が自分にもまだ在るのかもしれない。そんな勇気を与えられる映画です。

「Keywordは愛 必須アイテムはハンカチーフ」鑑賞をお勧めします。

「調和道丹田呼吸法体験会に参加」

高田 一彦

1月28日11時から、9階のチャペルにて開催の丹田呼吸法体験会に参加した。

「調和丹田呼吸法」は、明治の終わり頃に藤田靈齋が、東洋で古来から行われている様々な道(太極拳、気功、合気道、自彊術、等々)に含まれている呼吸法の最も基本的な部分を体系的に身につけられるように整理したもので、公益社団法人調和道は、会長が日野原重明氏が横浜YMCA理事長山田尚典氏が代表理事を務め、この日の講師は顧問の桜井忠敬氏。

丹田呼吸法(いわゆる腹式呼吸)は、大きな呼吸を丹田ですることにより、自律神経系が過緊張になっている場合は、リラックスさせ、疲れて機能が低下している場合は適度の緊張を取り戻させて調和を回復させる。

下腹部の中心にあるとされる丹田に意識を集めて丹田呼吸法を身につけていくと、素晴らしい心身の健康がもたらされ、体内の自然治癒が高められ、諸病の予防、克服などに威力が

★ 義務は全ての権利に伴う ★

発揮される。また、心の安定、活力化がはかられ、スポーツ、武道、芸道、などの上達が促される。

この横隔膜が主導する呼吸は、吐く息が大切で、訓練により横隔膜を自由に動かすことが出来るようになるとの事。動作を起こす時、普通は、息を吸ってから動作に入るが、鍛錬により吐く息より動作に入り、機先を制する例としては、居合抜きの最初の動作、カクタ競技のカクタを飛ばす瞬間、テニスの試合で球を打つ時の雄叫びなどがあげられる。



講習会参加の金子会長と高田ワイズ

横隔膜を鍛える実践として、両手を組んで、丹田に当て、横隔膜を意識しての呼吸法の練習を三呼一吸法（フッ、フッ、フーと3回連続して息を吐き、自然に空気が入って来るように一息で吸う）や、波浪息（みぞおちに手を当て、その箇所は固定したままで、吸うときは状態をやや後ろにそらし、はくときは前傾する）、また立って足踏みにリズムを付けての呼吸法等を体験した。今回の体験会には、介護福祉作業療法科の学生が約30名余参加していたが、私と、金子会長は第2例会の日程と重なったのを機に参加した。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：1月28日（木）15:00～18:00

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、伊藤、金子、齋藤、高田、古田

日本語学科 平岡、川本さん

協議・確認・報告事項は次の通り。

- ①第3回日本語スピーチコンテスト実施要領の確認
日本語学科の平岡さん、川本さんにも参加いただいて、審査員、交流会司会者等々の役割分担などについて確認
日時は2月24日13:30～16:30とする
- ②湘南・沖縄部次々期部長の横浜クラブからの選出、横浜クラブ次期役員選出について協議、次々期部長候補として金子ワイズを推薦、クラブ三役は留任の予定
- ③一泊研修会の部主催は見送り、例年通り横浜主体で実施
- ④古田会計より前期会計報告があり、クラブ会計の健全性、記録・管理の適切性を確認
- ⑤弁護士齋藤ワイズの指導のもとに、横浜クラブ会則等の改訂につき協議、6月頃迄継続予定
- ⑥3月卓話者は齋藤宙也ワイズ



担当主事 青木 一弘

●YMCAブランディング・プロジェクト イメージ調査のご報告

YMCAイメージ調査(11月16日～12月14日実施)は、当初の目標1万名を大きく超えて11,301名の皆様

からご協力をいただくことができました。この調査へのご協力をいただきまして心より感謝致します。横浜YMCAでも1,500人を超え、目標を達成することができました。これも皆さまのご協力のおかげです。ありがとうございました。今後は、他の調査とともにまとめ、ブランディングのコンセプトづくりに向けて取り組むこととなります。今後ともよろしくお願ひいたします。

2016年6月「ブランドコンセプト」の決定と発表
Facebook「YMCAブランディング情報交換」グループへの参加もお待ちしております！

●横浜YMCA “PINK SHIRT DAY”のお知らせ

2007年、カナダの学校で、ピンクのシャツを着た子どもが、ゲイと言われていじめられました。それを知った、仲間が50枚のピンクシャツを調達し、翌日みんなで学校に着ていきました。また、驚くことにメール等で知った仲間も、ピンクの消しゴムや、ピンク色のモノを身に付けていき、それが高じていじめがなくなりました。以後、カナダ全土や、世界中でいじめられている子どもに連帯し「いじめ」をなくそうとピンクシャツデーが2月の最終水曜日に行われています。今年2月24日（水）がピンクシャツデーです。スタッフ・リーダー一同はピンク色のグッズを身につけて皆さんをお待ちしています。『イジメのない世界をつくろう』という思いにご賛同いただける方は、当日一緒にピンクグッズを身につけましょう。そして、いじめに対するアピールをYMCAと一緒に社会へ発信していきましょう！

横浜YMCA会員大会（第一例会）

日時：2月11日（木）10:00～16:00

場所：湘南とつかYMCA 404教室

プログラム：会員大会に参加 司会：齋藤ワイズ

コアタイム（12:00～13:00）に404教室に集合
開会点鐘・ワイズソング・聖句・信条・ビジネス

Happy Birthday:

藤沢智晴（14）、大高治（16）、青木一弘（21）

例会報告：遠藤ワイズ

3月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
1	火	17:45	湘南・沖縄部第2回評議会	中央Y
1	火	19:00	第68回Y-Y協議会	中央Y
10	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
5～6	水		次期会長・部役員研修会	東山荘
24	木	17:00	横浜クラブ第2例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 046-641-5785